

教育課程説明会

【実施日時】 令和8年5月1日(金) 15時10分~16時10分

【会場】 川崎市立有馬中学校 体育館

次 第

1 開 会 ----- 【司会・進行：丸山】

2 校長挨拶 ----- (竹内校長)

・今年度の教育活動 など

3 教育課程についての説明

(1) 令和8年度・教育課程について----- (丸山)

(2) 評価・評定について----- (丸山)

(3) 教科ごとの学習・評価について----- (各教科主任)

国語→ 社会→ 数学→ 理科→ 音楽→ 美術→ 保健体育→ 技術・家庭→ 外国語(英語)

4 質疑応答—時間確保のために、全体会では実施いたしません。

●質疑がある場合には、「質疑用紙」に記入の上、5/8(金)までに各担任へ提出してください。

後日、学校ホームページや学年だより等で回答させていただきます。「質疑用紙」は当日受付で配付いたします。なお、データも添付してございますので、印刷したものをお使いいただいても構いません。

【保護者のみなさまへ】

【学校 HP 二次元コード】

*お車での来校はご遠慮ください。

*入校証、上履き、下履き入れをご持参ください。

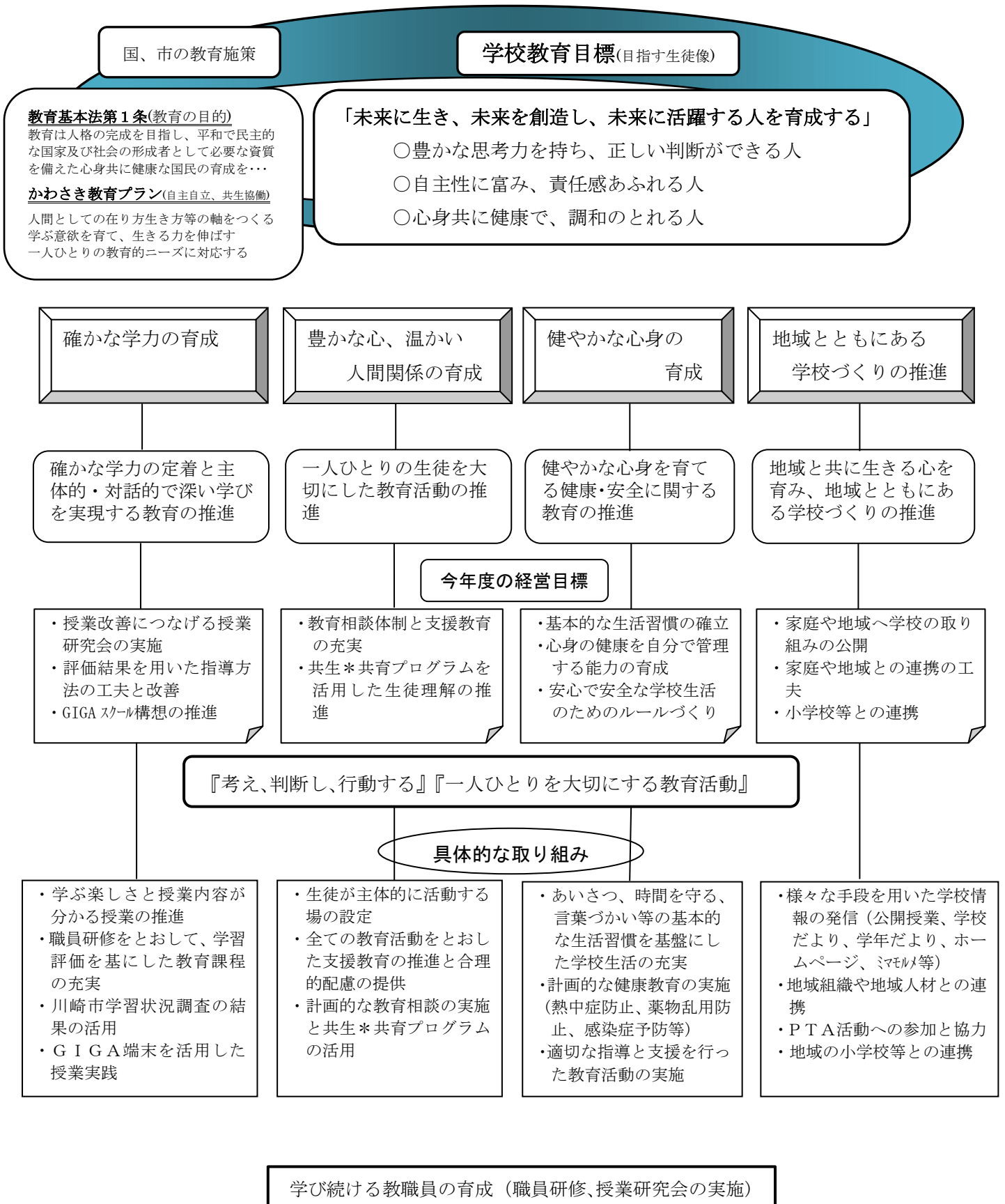
*教育課程説明会で使用する資料は、学校ホームページからダウンロードしていただくか、ミマモルメで配信したものをお使いいただきます。各自で印刷していただくか、スマートフォンや携帯電話・タブレット等でご覧いただくようお願いいたします。ペーパーレス化への取り組みにご理解いただければと存じます。なお、ホームページ掲載、ミマモルメ配信は4/27(月)でございます。

*教育課程説明会後は、部活動保護者説明会会場に移動していただきます。会場は以前配付いたしました4/17(金)の2,3年部活動保護者説明会と同会場です。当日生徒昇降口に掲示いたします。



【Memo】

A series of horizontal dashed lines for writing.



教育課程編成

川崎市立有馬中学校

1.【教科時間配当】

学 年	教 科	必 修 教 科									教 科 選 修	特 別 活 動	教 科 外 活 動	総 時 間 数
		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	体 育	保 健	家 庭 術				
1年A		4	3	4	3	2	1	3	2	4	1	1	1	29
1年B		4	3	4	3	1	2	3	2	4	1	1	1	29
2年		4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年		3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

- 総合的な学習 1年 SDGs を基幹にした課題解決学習（地域・自己学習）
- 2年 課題解決学習（地域）
- 3年 SDGs を基幹にした課題解決学習（キャリア）

○かわさき共生＊共育プログラム 各学年で年間6時間+SOS 出し方受け止め方教育1時間（計7時間）

2.【日課・時程】

	月	水・金	火・木
朝の始業本鈴	8：25	8：25	8：25
諸連絡(5分)	8：25～8：30	8：25～8：30	8：25～8：30
ちりつもタイム	8：30～8：40	8：30～8：40	8：30～8：40
1校時	8：45～9：35	8：45～9：35	8：45～9：35
2校時	9：45～10：35	9：45～10：35	9：45～10：35
3校時	10：45～11：35	10：45～11：35	10：45～11：35
4校時	11：45～12：35	11：45～12：35	11：45～12：35
昼食	12：35～13：15	12：35～13：15	12：35～13：15
昼休み	13：15～13：35	13：15～13：35	13：15～13：35
5校時	13：40～14：30	13：40～14：30	13：40～14：30
6校時		14：40～15：30	14：40～15：30
清掃			15：30～15：45
学活	14：35～14：45	15：35～15：45	15：50～16：00

・出席確認は8時25分

3.【最終下校時刻】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17:45						17:00		16:45	17:00	17:15	17:30

4.【時間割】

- ・学活：月1校時
- ・道徳：金1校時
- ・総合的な学習の時間：全学年 週1～2コマ

5.【授業日・長期休業日】

- ・学年始休業 4月1日（水）～4月4日（土）
- ・前期 4月1日（水）～10月9日（金）
- ・後期 10月14日（水）（10月のホリデースタディの翌日）～3月31日（水）
- ・夏季休業 7月17日（金）～8月26日（水）
- ・秋季休業 10月13日（火）（ホリデースタディ）
- ・冬季休業 12月25日（金）～1月6日（水）
- ・学年末休業 3月26日（金）～3月31日（水）

6.【学校行事】

- ・第49回体育祭・・・5月16日（土）
- ・修学旅行・・・6月2日（火）～4日（木）※6月5日（金）自宅学習日
- ・新体力テスト・身体測定・・・5月8日（金）
- ・第49回文化祭・・・10月20日（火）
- ・たまかん祭・・・10月31日（土）
- ・第49回合唱コンクール・・・10月7日（水）※会場：カルッツかわさき
- ・第2学年の「職場体験」・・・1月19日（火）、20日（水）に実施予定
- ・自然教室・・・2月24日（水）～2月26日（金）※白樺湖方面
- ・球技大会・・・2年：3月12日（金） 1年：3月15日（月）
- ・百人一首大会・・・2年：3月16日（火） 1年：3月12日（金）
- ・生徒会・・・総会（前期）：5月28日（木） 総会（後期）：3月2日（火）
 生徒会本部役員選挙・立会演説会：9月25日（金）
 新入生オリエンテーション（各種委員会）：4月8日（水）
 新入生オリエンテーション（部活動）：4月8日（水）
 夏季(県総体)壮行会：6月19日（金） 秋季(市総体)壮行会：9月11日（金）
 駅伝壮行会：10月16日（金） 文化部壮行会：9月11日（金）
 新入生体験：12月9日（水） 12月16日（水）
 三年生を送る会：3月5日（金）

※12月9日（水）12月16日（水）の午後に授業見学・部活動体験(参加希望者のみ保護者引率)を予定

7.【家庭訪問・面談】

- ・家庭訪問 令和7年度より実施せず（地域巡回）
- ・三者面談 夏休み前（5日間 希望制）7月10日（金）、13日（月）、14日（火）、15日（水）*16日（木）予備日
前期末（5日間 全員）9月30日（水）、10月1日（木）、2日（金）、5日（月）、8日（木）
冬休み前（4日間 希望制）12月17日（木）、18日（金）、21日（月）、22日（火）
- ・3年進路面談（三者）. . .（3日間 希望制）10月26日（月）、27日（火）、29日（木）
（5日間 全員）11月30日（月）～12月4日（金）（5日間）

8.【定期テスト】

- ・前期中間テスト 6月12日（金）
- ・前期期末テスト 9月 3日（木） 4日（金）
- ・後期中間テスト（3年）. 11月 5日（木） 6日（金）
- ・後期中間テスト（1・2年）. . . 12月 3日（木） 4日（金）
- ・学年末テスト（3年）. 2月 1日（月）
- ・学年末テスト（1・2年）. . . . 2月15日（月）16日（火）

※テスト5日前より休日と放課後の生徒諸活動停止

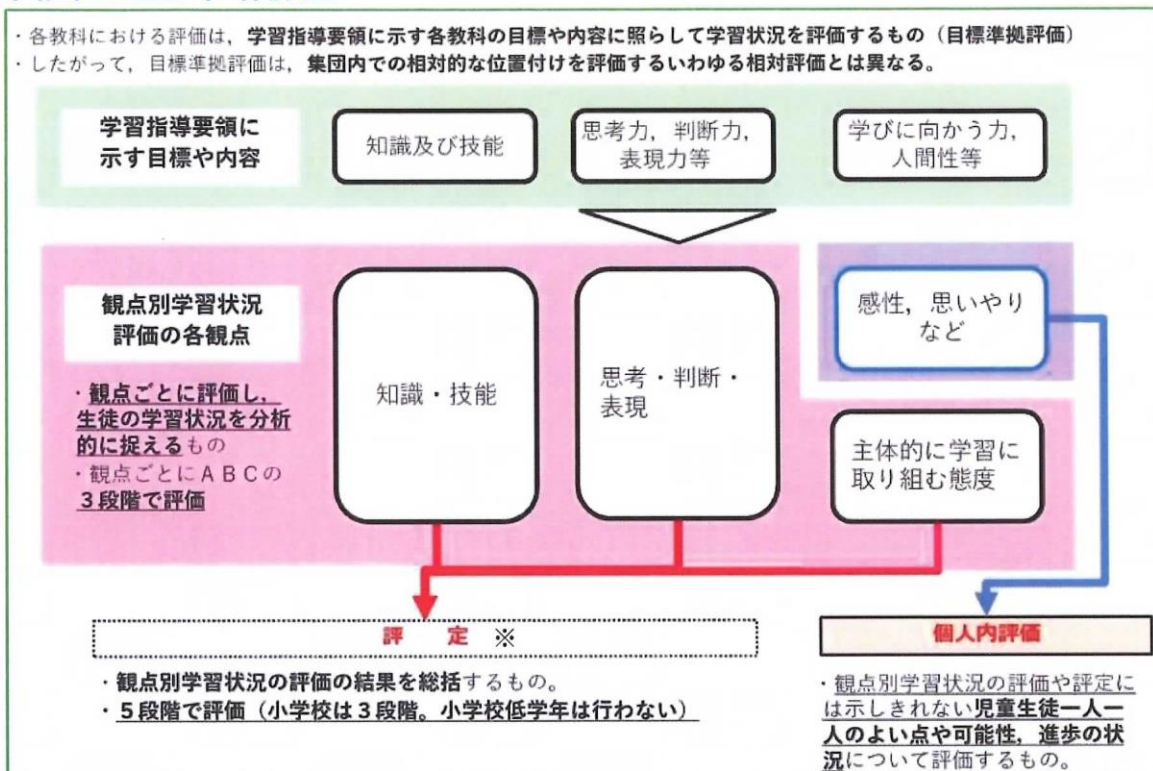
9.【授業参観・公開授業・学級懇談会等】

- 授業参観及び学級懇談会 4月17日（金）
3月11日（木）*1・2年生 卒業式の日程でずれる可能性あり。
- 授業公開日「学校へ行こう週間」及び文化祭展示週間
10月21日、22日、27日、28日*午前中のみ 保護者は来校参観可
*10月28日は川崎市連合文化祭のため時間短縮予定。
- ・保護者説明会 **※配信等の場合あり(配信の場合は配信開始日)**
. 部活動説明会（2・3年）4月17日（金） 修学旅行説明会（3年）5月 1日（金）
部活動説明会（全体）5月 1日（金） 教育課程説明会 5月 1日（金）
進路説明会 5月22日（金）、9月24日（木）
新入生保護者説明会 12月 3日（木） 自然教室説明会（1年）1月20日（水）

（留意事項）

*上記は年度当初の予定です。変更が生じた場合には、毎月配付する「月行事予定」や学校ホームページなどでお知らせします。

評価の基本構造



文部科学省初等中等教育局教育課程課「新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について」令和元年度地方協議会等説明資料

※「評価」は観点別学習状況の評価の結果を総括したものです。通知表（あゆみ）等での表記は、各学校の工夫によります。

各教科における評価は、集団内の位置付けではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況を評価するものです。

Q 観点別学習状況評価の各観点は、どのように評価されるのですか？

A 「知識・技能」は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

「思考・判断・表現」は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために

必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「学びに向かう力、人間性等」の「主体的に学習に取り組む態度」は表面に示したとおりです。また、「感性、思いやりなど」については、ABCではなく、一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況、努力や工夫などを積極的に認め、評価し、自信や意欲につなげる評価をし、日常的に伝えます。

Q 家庭として、学校から評価を受けとったら、どのような対応をすればよいですか？

A 児童・生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したか示していますので、御家庭では、受け取った結果をお子さんと一緒に御覧いただき、よく達成できたところはほめ

て伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていくようにしてください。

【観点別学習状況の評価】

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A[○]

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C[○]

一層努力を要すると判断されるもの：C

A[○] = 5点, A = 4点, B = 3点, C[○] = 2点, C = 1点とする。

組合せの代表例 (合計値)	評定と規準
A [○] A [○] A [○] (15)	5 十分満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの (15点～14点)
A [○] A [○] A (14)	
A [○] A [○] B (13)	4 十分満足できると判断されるもの (13点～11点)
A A A (12)	
A [○] B B (11)	
A B B (10)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点～8点)
B B B (9)	
B B C [○] (8)	
B C [○] C [○] (7)	2 努力を要すると判断されるもの (7点～5点)
C [○] C [○] C [○] (6)	
C [○] C [○] C (5)	
C [○] C C (4)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点～3点)
C C C (3)	

* 評定は、観点別評価によるため、**仮にテストの合計点が同じでも評定が異なる場合があります**（観点ごとの得点が違う場合）。

* 令和4年度から、定期テストの満点は教科によっては「100点」ではなくなっています。

国語科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

主体的に学び合い、国語力を身につけるための授業づくり

●本年度重点・具体的指導事項

1. 発表やグループワークを通して、協働的な授業を展開する。
2. 基礎的な語彙力を育み、学びえた力を活用する授業づくりを行う。
3. 読書・情報活用教育の充実。
4. 子どもたち一人ひとりの良い点や可能性などの個人内評価の充実に努める。

●学習内容

使用教科書「国語 1・2・3」（光村図書）

	1 学年	2 学年	3 学年
4 月	授業開き・詩や小説の読解		
5 月	小説の読解・説明文の読解	小説の読解・古典の学習	説明文の読解・俳句の鑑賞
6 月	説明文の読解・詩の鑑賞	説明文の読解・短歌の鑑賞	小説・随筆の読解
7 月	文法の学習・意見文作成	文法の学習・意見文作成（読書感想文の紹介）	
8 月	（読書感想文の紹介）		
9 月	意見文の発表・ 小説の読解	意見文の発表・小説の読解 随筆の読解	意見文の発表・小説の読解 詩の鑑賞
10 月	小説の読解・説明文の読解	小説の読解・説明文の読解	随筆の読解
11 月	古典の学習	古典の学習	古典の学習
12 月	古典の学習・書き初め	古典の学習・書き初め	古典の学習・書き初め
1 月	説明文の読解・文法の学習	説明文の読解・文法の学習	説明文の読解・文法の学習
2 月	小説の読解	説明文の読解・文法の学習	文法の学習・百人一首
3 月	詩の読解・百人一首	小説の読解・百人一首	

※学習内容は、時期の入れ替えがあります。

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しみ、理解しているかを評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストや小テスト、漢字テストなどの観点別問題 ・授業への取り組み ・知識・技能に関する提出物 など
2 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、道筋を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていくかを評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストや小テストなどの観点別問題 ・授業での表現活動や発表内容 ・ノートや配付プリントの内容 ・授業への取り組み など
3 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにし、言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、言語感覚を豊かにして言葉を適切に使おうとし、思いや考えを伝え合おうとすることを評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に取り組む態度 ・配付プリントやワークシート、ノートの内容 など

社会科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

「自ら学び、自ら考え、表現できる生徒の育成」

●本年度重点・具体的指導事項

1. 新学習指導要領に則した課題解決的な学習の実践。
2. 思考力を身につける学習の実践。
3. 対話をしながら、学び合いをする。

●学習内容

使用教科書「地理」帝国書院、「歴史」教育出版、「公民」教育出版

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	【地理的分野】 世界の姿 日本の姿 人々の生活と環境 世界の諸地域 【歴史的分野】 歴史のとらえ方・調べ方 原始・古代の日本と世界						【地理的分野】 世界の諸地域 【歴史的分野】 中世の日本と世界					
2年	【地理的分野】 日本の地域的特色 日本の諸地域 【歴史的分野】 近世の日本と世界						【地理的分野】 日本の諸地域 地域のあり方 【歴史的分野】 日本の近代化と国際社会					
3年	【歴史的分野】 日本の近代化と国際社会 二度の世界大戦と日本 現代の日本と世界				【公民的分野】 私たちの暮らしと現代社会 個人を尊重する日本国憲法 私たちの暮らしと民主政治				【公民的分野】 私たちの暮らしを経済 安心して豊かに暮らせる社会 国際社会に生きる私たち 私たちが未来の社会を築く			

※進捗状況により順番が入れ替わることがあります。

●評価の項目と評価方法

観 点	評 価 項 目	評 価 方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を正しく理解することができるか。 ・資料などから様々な情報を効果的に調べ、まとめることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストにおける観点別問題 ・ワークシート・レポート等の記述内容 ・授業での学習活動への取り組み
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察することができるか。 ・社会に見られる課題の解決に向けて、選択・判断や説明、議論することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストにおける観点別問題 ・ワークシート・レポート等の記述内容 ・授業での学習活動への取り組み
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしているか。 ・ワークシートや個人のレポート等における記述、学び合い活動や授業展開の中で知識や技能を獲得しようとして継続して取り組んだり、自らの学習を調整したりしようとする姿勢がみられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート・レポート等の記述内容 ・授業での学習活動への取り組み

数学科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

個別最適な学びを実現し，自己の考えを深められる授業づくり

●本年度重点・具体的指導事項

1. 課題の解決に向けて，論理的な思考を用いて，統合的・発展的に考えることができるよう，授業を展開していく。
2. 自らの考えと他者との考えを比較し，より理解を深める活動を充実させる。
3. GIGA 端末等を活用しながら，個別最適な学びを実現できる授業を展開していく。

●学習内容

使用教科書「中学数学」（教育出版）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	1章 整数の 見方	2章 正の数， 負の数	3章 文字と式	4章 方程式	5章 比例と反比例	6章 平面図形	7章 空間図形	8章 データの分析				
2年	1章 式の計算	2章 連立方程式	3章 1次関数	4章 平行と合同	5章 三角形と 四角形	6章 確率	7章 データの分析					
3年	1章 式の計算	2章 平方根	3章 2次方程式	4章 関数 $y = ax^2$	5章 相似な図形	6章 円	7章 三平方 の定理	8章 標本調査				

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法
1	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての概念や原理・法則などを理解しているか。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストによる観点別問題 ・授業で行うテストの観点別問題 ・授業中の活動
2	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストによる観点別問題 ・授業で行うテストの観点別問題 ・授業中の活動
3	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動 ・授業に関連する提出物等の学習活動 ・定期テストや授業で行うテスト ・その他、数学的活動に関するもの全般

理科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

生徒の探究心を育む授業づくり

●本年度重点・具体的指導事項

1. 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身につけさせる。
2. 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養わせる。
3. 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養わせる。

●学習内容

使用教科書「未来へひろがるサイエンス」(啓林館)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	自然の中にあふれる生命	いろいろな生物とその共通点	身のまわりの物質			光・音・力による性質			活きている地球			
2年	生物の体のつくりとはたらき		電流とその利用			地球の大気と天気の変化			化学変化と原子分子			
3年	化学変化とイオン		運動とエネルギー			生命の連続性		宇宙を観る		自然と人間 3年間の復習		

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法
1	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や知識を身に付けるとともに、観察・実験の基本操作を習得しその過程や結果を的確に記録・整理できる技能が身に付いているかを評価します。	・小テストや定期テストによる観点別問題
			・パフォーマンステスト(技能テスト)
2	思考・判断 ・表現	自然の事物や現象の中に問題を見出し、目的意識を持って観察・実験を行い、事象や結果を分析して解釈し、表現できているかを評価します。	・定期テストによる観点別問題
			・実験レポートにおける考察等 ・授業での発言や発表の内容等
3	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物や現象に進んで関わり、それらを科学的に探究するとともに、日常生活などに関連させて考え、進んで授業や観察・実験に取り組む、主体的に学ぼうとする態度を評価します。	・授業中の取り組み・実験や観察への取り組み等
			・課題・実験レポートの内容等

音楽科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

音楽的な見方・考え方を働かせるための授業改善

表現及び鑑賞の幅広い活動をする中で、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を育成すると共に、それに応じた評価・評定の研究をする。

●本年度重点・具体的指導事項

1. 音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
3. 音楽に対する感情を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

●学習内容

使用教科書 「中学生の音楽」 1、2/3 上、2/3 下、器楽（教育芸術社）

	前 期			後 期				
1年	・美しい歌声を響かせよう ・音楽の基礎の学習	イメージをもたらす音楽の要素を感じ取ろう	音楽の素となるリズムを理解しよう	・三部合唱の響きを味わおう ・日本の歌の美しさを味わおう	芸術歌曲の豊かな音楽表現を感じ取って聴こう	曲想の変化を感じ取りながら聴こう	・日本の伝統音楽に親しもう ・和楽器に親しもう	美しい響きで豊かな曲想表現をしよう
2年	・美しく豊かな響きで表現しよう ・多声的な音楽に親しもう	言葉と旋律の関わりを感じ取って表現しよう	交響曲の豊かな響きを味わおう	・美しく豊かな響きで、曲にふさわしい表現を工夫しよう ・世界各国の歌に触れ、それぞれの特徴を味わおう	オペラに親しもう	・楽器の音色と奏法とのかかわりを理解しよう ・日本の音楽を味わおう	全体の響きの調和を感じ取って表現豊かな合唱をしよう	
3年	情景を思い浮かべながら言葉を大切にしておおう	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう ・音楽の歴史を知ろう	・四部合唱の響きを味わいながら表現豊かに歌い合わせよう ・日本の伝統芸能に親しみ、その良さを味わおう	楽器の構造やしくみを理解した上で楽器演奏を楽しもう	心通う合唱を演奏し、中学校生活を感動の中で締めくくろう			

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解しているかを評価します。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現しているかを評価します。	・実技テスト ・定期テストによる観点別問題 ・授業への取り組み (技能面、発言・発表内容など)
2 思考・判断 ・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしているかを評価します。	・定期テストによる観点別問題 ・実技テスト ・授業への取り組み (発言・発表内容など)
3 主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているかを評価します。	・音楽の学習活動に取り組む姿勢など (発言・発表内容等含む) ・ワークシート・レポート等 提出物の内容など

美術科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

自ら主題を生み出し、豊かに発想するための指導の研究

●本年度重点・具体的指導事項

1. 感じ取ったことや考えたことなどを基に発想し、自ら主題を生み出す表現の指導。
2. 目的や機能などを考え、自ら主題を生み出す表現の指導。
3. 形や色などが感情にもたらす効果およびイメージでとらえることの理解の指導。
4. 生活を豊かにする美術の働きに関する鑑賞と美術文化に関する鑑賞を充実。

●学習内容

使用教科書「美術1 美術2・3上下」（日本文教出版株式会社）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	オリエンテーション	つなげて広がる模様の世界	見つめて、感じて、描いて 色彩の基本・仕組み	暮らしの中の木の工芸 なぜか気になる情景			屏風 美の仕掛け	人間っておもしろい	形や色で伝えるシンボルマーク			
2年	オリエンテーション	つくる、使う、材料を味わう工芸	イメージを形にすると			日本文化との出会い	使う人の立場考える椅子	奥行のある表現				
3年	オリエンテーション 仏像の姿に見る人々の祈り	デザインで地域を豊かに		あなたのイメージを探そう			私自身を見つめて	魅力を伝えるパッケージ				

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法
1	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解しているか、表現方法を創意工夫し創造的に表しているかを評価します。	ワークシート類 アイディアスケッチ 試作の作品 制作途中の作品 活動の様子 完成作品
2	思考・判断・表現	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているかを評価します。	ワークシート類 アイディアスケッチ 試作の作品 制作途中の作品 活動の様子 完成作品
3	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしているかを評価します。	ワークシート類 アイディアスケッチ 試作の作品 制作途中の作品 活動の様子 完成作品

保健体育科の学習・評価について

●研究テーマ 「人とのかかわりを大切にしながら、主体的に学習に取り組む姿を通して、
運動の醍醐味やスポーツの魅力を味わうための学習指導と評価の工夫」

●重点具体的指導事項

体育分野：見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現するための
3つの資質・能力をバランスよく育む学習指導と評価の工夫

保健分野：見方・考え方を働かせ、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るための3つの資質・能力を
バランスよく育てる学習指導と評価の工夫(実践力の育成)

●学習内容 使用教科書「新しい保健体育」(東京書籍)

学年	クラス	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 学 年	147	体づくり 運動	器械運動	ダンス	陸上競技	バレーボール	柔道	ソフトボール	体つ くり 運動			
	258		陸上競技	器械運動	ダンス	ソフトボール	バレーボール	柔道				
	36		ダンス	陸上競技	器械運動	柔道	ソフトボール	バレーボール				
	保健	体育理論・健康な生活と疾病の予防①					心身の機能の発達と心の健康					
2 学 年	147	体づくり 運動	器械運動	ダンス	陸上競技	バレーボール	柔道	ソフトボール	体つ くり 運動			
	258		陸上競技	器械運動	ダンス	ソフトボール	バレーボール	柔道				
	36		ダンス	陸上競技	器械運動	柔道	ソフトボール	バレーボール				
	保健	体育理論・傷害の防止					健康な生活と疾病の予防②					
3 学 年	1234	体づくり 運動	【選択1】 器械運動 陸上競技 ダンス	【選択2】 バスケットボール バレーボール ソフトボール	【選択3】 バスケットボール バレーボール ソフトボール 柔道	【選択4】 サッカー ハンドボール バドミントン 卓球						
	567											
	保健	体育理論・健康と環境					健康な生活と疾病の予防③					

●評価項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	単元まとめ振り返り
		特性やルールの理解
		運動技能の理解 (個人的技能・集団的技能)
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	ノートの記入内容等
		課題解決に向けた話し合いや 課題の持ち方
		練習の仕方や場所の工夫等
主体的に学習に 取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	活動の態度(積極性・自主性、 教え合い)
		活動の意欲(活動量、協力、 安全面での配慮)
		提出物の内容等

技術・家庭科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

生活の中から自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の実践

●重点・具体的指導事項

技術分野

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。

家庭分野

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を育成する。

●学習内容（技術分野）

使用教科書「新しい技術・家庭 技術分野」（東京書籍）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ガイダンス	材料加工の技術		木製品の製作を通して、身の回りの問題の解決						生物育成：栽培		
2年	生物育成：栽培			エネルギー変換の技術		エネルギー変換技術による問題の発見と解決				情報の技術 双方向性のあるコンテンツ		
3年	情報の技術		計測制御プログラムの作成						技術分野の学習のまとめ			

●学習内容（家庭分野）

使用教科書「新しい技術・家庭 家庭分野」（東京書籍）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	家族・地域		衣生活						住生活			
2年	住生活		食生活						消費生活			
3年	幼児との触れ合いに向けて						消費生活			生活の課題と実践		

●評価の項目と評価方法

観点	評価の内容	おもな評価の方法
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・技能の定着度 ・作品の完成度 ・小テスト・定期テスト など
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・学習プリント ・製作物 ・自己評価 ・レポート など
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・学習活動への取り組み状況 ・実践の記録 ・作品提出状況・安全面への配慮 ・自己評価表の記録・学習プリント ・忘れ物・実習時の服装 など ・作業中の評価 ・技能の定着度 ・作品の完成度 ・小テスト・定期テスト など

・技術・家庭科の評価は技術で50%、家庭科で50%をそれぞれ算出し、合計した数値により、各観点の到達度を計算しています。

英語科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

即興的に自分の考えや気持ちを自分の英語で伝え合う力の育成
～生徒主体の授業づくりを目指して～

●本年度重点目標・具体的指導事項

1. 簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
2. 設定した自己目標を達成できるよう、学び合いを通して主体的な学びを推進する。

●学習内容 使用教科書「Here We Go!」(光村図書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	Let's Be friend! Unit1-3 Daily Life World Tour Active Grammar You Can Do it!					Unit4-6 Daily Life Active Grammar			Unit7・8 World Tour Let's Read You Can Do It!			
	Round1	Round2/3	Round3/4			Round1/2	Round3/4		Round1/2		Round3/4	
				パフォーマンス テスト		定期テスト			定期テスト パフォーマンス テスト		定期テスト	パフォーマンス テスト
2年	Unit1-3 Daily Life World Tour Active Grammar You Can Do it!					Unit4-6 Daily Life Active Grammar			Unit7・8 World Tour Let's Read You Can Do It!			
	Round1	Round2/3	Round3/4			Round1/2	Round3/4		Round1/2		Round3/4	
			定期テスト	パフォーマンス テスト		定期テスト パフォーマンス テスト			定期テスト パフォーマンス テスト	パフォー マンス テスト	定期テスト	パフォーマンス テスト
3年	2nd Grade Unit7-8	Unit1-3 Daily Life World Tour Active Grammar You Can Do it!				Unit4-5 Daily Life Active Grammar			Unit6-8 World Tour Let's Read You Can Do It!			
	2nd Grade Round3/4											
		Round1	Round2/3	Round3/4		Round1/2	Round3/4		Round1/2	Round3/4		
		定期テスト パフォーマンス テスト			定期テスト パフォーマンス テスト		定期テスト パフォーマンス テスト		定期テスト	パフォーマンス テスト		

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
知識・技能	(知識)英語の文法・語法の特徴や決まりを理解している。	・定期テスト(単元のまとめ)による観点別問題
	(技能)英語の文法・語法を用いて適切に伝えあう技能を身に着けている。	
思考・判断・表現	設定された目的、場面、状況に応じて、情報や考え、気持ちを適切に理解、表現することができる。	・パフォーマンステスト
		・定期テスト(単元のまとめ)による観点別問題
主体的に学習に取り組む態度	設定された目的、場面、状況に応じて、情報や考え、気持ちを適切に理解、表現しようとしている。	・パフォーマンステスト ・振り返りシート

※単元により、上記から変更になることもございますので、ご了承ください。

※パフォーマンステストは、ストーリーリテリングテストやインタビューテストなどの英語を話すテストを指します。

***この用紙は、【教育課程】に関する質疑用紙です**

質 疑 用 紙

○時間確保のため、会場での質疑応答ではなく、「質疑用紙」に記入していただく形で実施します。後日、学年だより等で回答・周知させていただきます。

- *回答時に質問者名は掲載しません。ただし、提出時には必ず、お子様の学年、クラス、氏名をご記入ください。記名がない質問には、回答を控える場合がありますことをご了承ください。
- *具体的な案件や個人が特定できそうな部分、プライバシーに関する部分はこちらで十分配慮して掲載しますのでご安心ください。
- *同様な質問に関しては、集約して回答する場合がありますのでご了承ください。
- *提出は任意です。質問がある場合のみ記入、ご提出ください。

提出期日:令和8年5月8日(金)

までのご提出にご協力ください(担任まで)

生徒氏名: ___年___組() _____

*回答では、質問者名は掲載しません

*無記名の場合は、回答を控える場合がありますことをご了承ください